2026年11月12日

各　位

会 社 名　　ＮＫＫスイッチズ株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　大橋　宏成
（コード：6943、東証スタンダード）
問合せ先　　取締役　　海老沼　博行
（TEL. 044 - 813 - 8026）

通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年８月６日に公表いたしました2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて下記のとおり決議すると共に、2027年３月期の期末配当予想についても下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．通期連結業績予想の修正について

(1) 2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	9,600	340	440	308	374.40
今回修正予想（Ｂ）	11,000	1,100	1,225	846	1,028.28
増減額（Ｂ－Ａ）	1,400	760	785	538	―
増減率（　％　）	14.6	223.5	178.4	174.7	―
（参考）前期連結実績（2026年３月期）	8,373	280	407	292	355.65

２．修正の理由

第２四半期は、第１四半期に引き続き受注・生産が高水準で推移したことに加え、円安傾向が継続したことから、売上高・利益ともに当初予想を大幅に上回りました。その背景には、当社グループが属する電子部品市場の需要回復に加え、AI関連投資の活発化を受け、データセンターや半導体製造装置などの関連機器向け需要が拡大したことがあると認識しております。今後も需要は堅調に推移すると見込んでおりますが、原材料価格や物流費の高騰、米国中間選挙の結果等を受けたAI関連投資の鈍化、先行発注の反動による需要調整の可能性にも留意し、これらを総合的に勘案したうえで、通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、本業績予想における下期の為替レートは、１米ドル150円を前提としております。（上期の実績平均為替レートは１米ドル＝159.33円）

３．剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決　定　額	直近の配当予想 (2026年５月15日公表)	前期実績 (2026年３月期中間配当)
基　準　日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり配当金	150円00銭	50円00銭	40円00銭
配当金総額	123,396 千円	―	32,910千円
効力発生日	2026年12月11日	―	2025年12月11日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

(2) 期末配当予想修正の内容

	１株当たり配当金（円）		
	第２四半期末	期　末	合　計
前回予想 (2026年５月15日公表)	50円00銭	50円00銭	100円00銭
今回修正予想		150円00銭	300円00銭
当期実績	150円00銭		
前期実績 （２０２６年３月期）	40円00銭	80円00銭	120円00銭

(3) 理由

当社は、利益配分につきましては株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけており、収益の状況及び将来の事業展開等を勘案して安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、当期の中間配当につきましては、最近の経営環境や業績予想等を総合的に勘案し、前回予想から100円増配の１株当たり150円とさせていただきます。また、期末配当予想につきましても同じく１株当たり150円に修正いたします。これにより、中間配当を含めた当期の年間配当金は、前回予想から200円増配の１株当たり300円となる予定であります。

（注）上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき合理的であると判断する一定の前提より作成したものであり、実際の業績及び配当は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。開示すべき重要な事象が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上